

慈恵病院が担う役割について

令和6年2月
医療法人 聖粒会 慈恵病院

1 現状と課題

【自施設の現状と課題】

＜記入要領＞

令和6年4月より診療科目を産科・婦人科・小児科診療とし、地域に貢献できる医療提供を実施します。

1, 病院の理念

- ・キリストの愛と献身の精神を信条とします。
- ・高度で暖かい医療と看護を提供します。
- ・患者さんの満足と幸せのために尽くします。

2, 基本方針

- ・患者さんの権利を尊重し、十分な説明と同意に基づいた医療を提供します。
- ・患者さんの安全確保と院内感染防止を徹底します。
- ・適切で、優しい看護を提供します。
- ・笑顔と心くばりをもって接遇し、清潔で快適な院内環境を保持します。
- ・健全経営を継続し、働きがいのある職場づくりに努めます。

1 現状と課題(2)

- 急性期一般入院基本料1

平均在院日数 8日

- 職員数

医師 13名、助産師 31名、看護師 71名

その他専門職 57名、事務職員 46名 総数 218名

- 熊本県は、第5次保険医療計画で緊急な対応が必要とされる母体の緊急疾患や他科合併症を有する妊婦に対して地域の産科医療機関で迅速に対応するため、地域の中核的な産科医療機関を「地域産科中核病院」として位置づけています。当院は、平成25年4月に地域周産期中核病院指定を受けて、地域の周産期医療の中核的な役割を担って参りました。医療連携につきましては、地域の産科医療施設や総合周産期母子医療センターの熊本市民病院や熊本大学附属病院、地域周産期母子医療センターの熊本市赤十字病院や福田病院と連携しています。また、新型コロナウイルス感染症対応では、入院病床確保を行いました。

2 今後の方針

【地域において今後担うべき役割】

- 地域周産期中核病院として、地域において正期産の妊婦・産婦・褥婦に対する産科医療や母子の安全への取り組みを強化する。
 - 地域の産科医療施設や助産所等から母体救急疾患の初回を受けた場合、迅速に受け入れる。合併症を有する妊婦等、迅速な救急対応が必要とされる妊婦を受け入れる。
 - 総合周産期医療センターである熊本市民病院、熊本大学医学部附属病院や地域周産期母子医療センターである熊本赤十字病院や福田病院と連携し必要適時母体・新生児搬送を行う。
 - 上記の周産期医療センターが新興感染症や様々な理由で機能が果たせない状況時は当院で受け入れ可能な患者様を後方連携し受け入れ熊本県の周産期医療が常に適切に提供できるように協力する。
 - 婦人科良性疾患の手術適応患者様へのスピーディーな対応
 - 医療従事者の確保
- 特に産婦人科医師採用が課題
看護スタッフは中堅クラスの定着率を上げることが課題。

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【① 4 機能ごとの病床のあり方 その1】

単位：床

病床機能	2022年(令和4年)	2025年(令和7年)	備考
高度急性期			
急性期	98	75	
回復期			
慢性期			
その他			
合 計	98	75	

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【②診療科の見直し】

	現時点 (2018年11月時点)	2025年	理由・方策
維持	産科、婦人科、小児科、 外科、内科、麻酔科 乳腺外科	産科・婦人科・ 小児科・麻酔科	専門に特化
新設			
廃止		乳腺外科・内科・外科	専門に特化
変更・統合			

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【① 4 機能ごとの病床のあり方 その2】

- ・産科・小児科（新生児）・婦人科（周手術期）の患者様を受け入れるため、一般急性期病棟を維持する。
- ・内科患者に関しては
 - ①リハビリテーション部門を持たない病院のため、在宅復帰支援（特に高齢者）が十分に実施できない
 - ②熊本市内には治療ベッドを有する多くの内科病院が存在する
 - ③当院でできる治療は限定的なため、収益を確保できない以上の理由から廃止とした。

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【① 4 機能ごとの病床のあり方 その3】

- 2018年(基準日)の病床機能
急性期・・・98床
- 2025年(基準日後)の病床機能
急性期・・・75床

当院が今後提供します医療機能につきましては、地域の医療機能・医療ニーズを把握し、他の医療関連施設等と適切に連携していき対応することが求められていると確信しています。
従いまして2025年においても現状の医療機能を維持、提供していくことが、当院の役割であると考えております。

3 具体的な計画 (2) 数値目標

	現時点(2018年11月時点)	2025年
①病床稼働率	62.2%	70.0%
②紹介率	7.6%	10.0%
③逆紹介率	11.2%	13.0%

3 具体的な計画

(3) 数値目標の達成に向けた取組みと課題

【取組みと課題】

□ 取組み

- ・ 周産期医療の質の向上
- ・ 婦人科良性疾患領域におけるスピーディーで良質な医療提供
- ・ 孤立育児を予防する取組み
- ・ 要支援妊産婦様への安心なケアの提供・相談体制の拡充

□ 課題

- ・ 妊婦様のニーズを捉え、常に変革をして患者様に選ばれる病院となるためには
 - 医療の質向上○接遇強化○ハード面の維持更新○広報活動
 - 相談体制拡充○育児支援体制の確立等々
- ・ スピーディーで安全安心な医療提供のため、若手の産科・婦人科医の確保
- ・ 働き方改革（A水準運用等）と子育て世代の中堅看護職員の離職防止策

4 その他特記事項

【妊娠・出産・育児などの相談体制の充実】

当院のホームページに様々な悩みを抱えている人の相談窓口を設けております。多様性が重視される世の中で、孤立し悩む女性に寄り添い断らない支援を実践します。

「こうのとりのゆりかご」を開設し16年になりました。
今後も全国からの相談に真摯に誠実に対応しています。内密出産などの実践からこの出自に関して、子どもたちが健やかに育っていくように精進し、命を大切にする病院であり続けたいと考えています。